

開館三〇周年記念特別展

牛島憲之

至高なる静謐

USHIJIMA
Noriyuki

2011年4月5日(火)→5月29日(日)

| 休館日 | 4月11日(月)、18日(月)、25日(月)
5月2日(月)、6日(金)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

| 開館時間 | 午前10時～午後6時(ただし入館は午後5時30分まで)
※毎週金曜は午後7時閉館(ただし入館は午後6時30分まで)

| 入館料 | 一般300円(240円)、小中学生100円(80円)

※()内は団体10名以上。土曜日は小中学生無料・障がいのある方及び付添の方1名無料

| 座談会 | 4月24日(日) 午後2時～

「牛島憲之の人と作品」

宝木範義氏 [明星大学教授]、牛島葉子氏 [牛島憲之画伯息女]

渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-14-14 TEL 03-3465-9421
<http://www.shoto-museum.jp>

牛島憲之

USHIJIMA NORIYUKI

開館30周年記念特別展 至高なる静謐

本年は当館が開館して30周年にあたります。これを記念して、渋谷区ともゆかりのある、20世紀の日本洋画壇を代表する画家牛島憲之の回顧展を開催いたします。

牛島憲之(1900-1997)は、熊本県に生まれ、少年時代より画家を志し、19歳にして上京、青年時代の一時期を今の渋谷区千駄ヶ谷で過ごしました。東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業した1927年の帝展に初入選、以後、帝展、槐樹社展、東光会展、創元会展などで作品を発表。戦後の第2回日展で《炎昼》により特選を受賞しました。1949年に須田寿などとともに自由な創作の場として立軌会を結成、以後、同会を中心に、日本国際美術展・国際形象展などで作品を発表、また、1954年からは東京藝術大学で後進の指導にもあたりました。1981年には日本芸術院会員となり、1983年には文化勲章を受章しています。その作品は、初期の芝居小屋などの群集の熱気を題材とした作品から、水辺の風景や陽だまりといった自然を追っての作品に、さらに、水門やタンク・煙突などの人工的な構築物を描きこむようになり、牛島の画風が確立されていきます。大胆な構図、茫洋とした色彩、豊かな詩情がその特色といえるでしょう。

本展では、学生時代の《風景》から絶筆となった《道一筋》までの66点の代表作により、牛島の画業を回顧いたします。97年間の画家としての一生の中で、モチーフも技巧も変化しますが、牛島が追及し続けたのは日本の風土ととけあった油絵であり、日本の美でした。気品ある静謐感と詩情豊かな牛島憲之の絵画世界に浸っていただきたいと思います。

座談会

4月24日(日) 午後2時～

「牛島憲之の人と作品」

宝木範義氏 [明星大学教授]、牛島葉子氏 [牛島憲之の画伯息女]



渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-14-14 TEL 03-3465-9421

JR渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

<http://www.shoto-museum.jp>



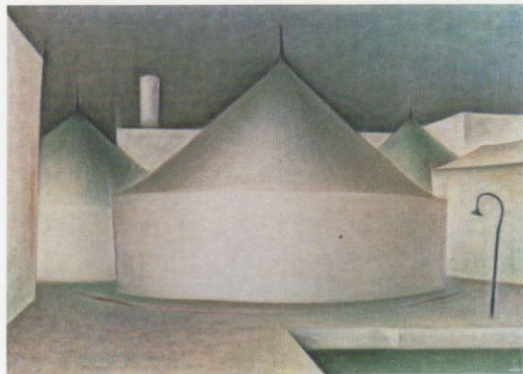
《貝焼場の風景》1933年 熊本県立熊本高校・江原会蔵



《炎昼》1946年 京都国立近代美術館蔵



《煙突》1951年 熊本県立美術館蔵



《倉庫》1958年 東京国立近代美術館蔵



《並木路》1975年 個人蔵

ギャラリートーク

4月16日(土) 午後2時～ 5月3日(火・祝) 午後2時～

5月14日(土) 午後2時～

美術映画会

4月30日(土) 午後2時～ 「日本の美 平泉・中尊寺」

5月7日(土) 午後2時～ 「東大寺 I・II」